



SHIROYAMA HOTEL
kagoshima



SHIROYAMA HOTEL kagoshimaの 省エネルギー化事業

城山観光株式会社



事業者概要

事業者名	城山観光株式会社 (SHIROYAMA HOTEL kagoshima)
創業	1948年 (創業70周年)
代表者	東 清三郎
資本金	3,000万円
従業員数	825人
事業内容	ホテル事業



事業者概要



SHIROYAMA HOTEL
kagoshima

1948年 キャンデーストア開店(創業)

1948年 キャンデーストア開店



1961年 城山観光株式会社設立

1963年 城山観光ホテル(63室)開業

1963年 城山観光ホテル開業



1974年 同新館(502室)完成

2000年 ホテル全面改装し、365室に／展望露天温泉「さつま乃湯」を新設

2009年 ガーデンレストランホルト改装「ホルト ゲストヴィラ」オープン

2010年 西側一階全面リニューアル「城山ガーデンズ 水簾」オープン

2013年 ホテル開業50周年／ホテル全館Wi-Fi無料接続導入

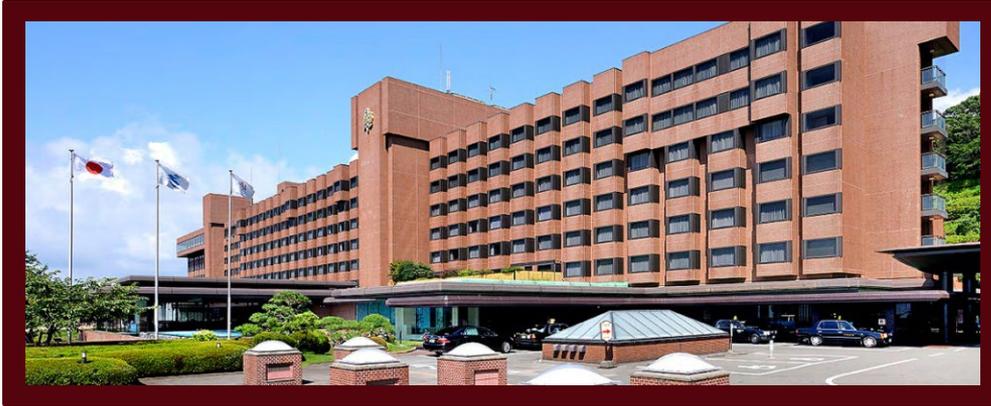
2015年 シングルルームリニューアル (78室)

2016年 展望露天温泉「さつま乃湯」リニューアル

2018年 創業70周年／SHIROYAMA HOTEL kagoshimaにホテル名称を変更

事業者概要

鹿児島県鹿児島市新照院町 4 1 - 1



鹿児島中央駅・天文館・鹿児島 I Cより車で約10分

標高108mの高台の城山から桜島と鹿児島市街地、そして雄大な錦江湾を一望できる

事業者概要

— ホテルコンセプト —

「幸せを、かさねていける場所」

SHIROYAMA HOTEL kagoshimaは「幸せを、かさねていける場所」として、生涯に渡ってお客様との「絆」を作り、幸せのお手伝いをさせていただきます。

大切な記念日が増えていく人生。特別な日を家族で祝う幸せを、SHIROYAMA HOTEL kagoshimaで。



事業者概要

— SHIROYAMA HOTEL kagoshimaの楽しみ方 —

桜島と鹿児島市街地を一望する

絶景展望露天温泉

地下1000mから湧き出る良質な温泉と、
108mの高台から桜島と鹿児島市街地を一望する絶景展望露天温泉。
お肌がつるつるになる美人の湯で、日頃の疲れをゆっくりとお癒しください。



さまざまなシーンに対応する

豊富な会場で特別なひとときを

最大1800名収容可能な大規模会場をはじめ、
大小16会場を完備しております。
ご宴会や会議、結婚式の披露宴など、
さまざまなシーンでご利用いただけます。



省エネへの取組

省エネ推進委員会の設置（組織図・H30年度）



社内に「省エネ推進委員会」を設置。

エネルギー管理の管轄ごとに「部門委員」を選定し、計画した省エネへの取組が現場において確実に実施される体制となっている。

※部門委員には、指示ができる立場のスタッフを選定し、実効性を高めている。

省エネへの取組

活動目標

事業者クラス分け評価制度の **Sクラス維持**

活動計画

ハード面（機器変更）

照明LED化（H29年度末71.9%⇒H30年度末75.9%）

空調変更（西側1階通路・西棟客室系統AHU）

ポンプ等更新

※高効率機器によりエネルギー使用量の削減に貢献する

ソフト面（啓発活動）

電灯節電（照明節電・PC電源節電）

空調節電（室温管理・定期的なフィルター清掃）

毎月の省エネ巡回（委員巡回・部門長同行巡回）

省エネへの取組



		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
委員会設置					第1回 (7/下旬) <ul style="list-style-type: none"> ・目的の共有 ・エネルギー消費原単位の報告 ・昨年度の反省 ・今年度の目標等 				第2回 (11/下旬) <ul style="list-style-type: none"> ・省エネ活動の報告(ハード/ソフト) 				第3回 (3/下旬) <ul style="list-style-type: none"> ・省エネ活動の報告(ハード/ソフト) ・来年度の取組み等
	法的報告 (九州経産局) (九州運輸局)				エネルギー定期報告								
活動内容	全社	← クールビズ実施 →											
	事務局	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	ハード	← 照明LED化 省エネ型・高効率型の機器へ更新 等 →											
	ソフト	← 冷房節電活動 → ← 暖房節電活動 → ← 電気節電活動、空調フィルター清掃活動 等 →											

省エネへの取組について、年間スケジュールを作成。

取組を見える化し、より実行に繋げる施策を行っている。

本補助金への申請経緯

過去にも、省エネ補助金に申請を行った。

申請年度	平成25年度
補助金名称	エネルギー使用合理化事業者支援補助金
補助対象経費	221.3百万円
補助金額	73.7百万円
導入設備	水冷チラー、空調機、食器洗浄機



不採択

ホテル全体に対する計画省エネルギー率が約1%であり、採択された他の事業と比較して、省エネ性が低いことに原因があった。

本補助金への申請経緯

Step1

過去にも省エネ補助金に申請したことがあったため、省エネ補助金の存在を知っていた。

Step2

ホテルの更なる価値向上のため、耐震工事や設備更新を進める中で、エネルギー消費効率の高いボイラへの更新を計画し、補助金の活用を検討した。

Step3

コスト削減効果の高いシステムを検討し、ボイラ（ガス）とヒートポンプ給湯器（電気）を併用するハイブリットシステムへ計画を見直した。

Step4

過去の経験から今回は、比較的簡単に申請でき、設備単体の省エネ効果で評価される「区分Ⅱ 設備単位」を選択した。

事業概要

補助事業名	SHIROYAMA HOTEL kagoshimaの 省エネルギー化事業
実施年度	平成29年度
補助金名称	省エネルギー投資促進に向けた支援補助金 (区分Ⅱ 設備単位)
補助対象経費	38.6百万円
補助金額	12.8百万円
導入設備	①業務用ヒートポンプ給湯器×8台 ②高性能蒸気ボイラ×3台

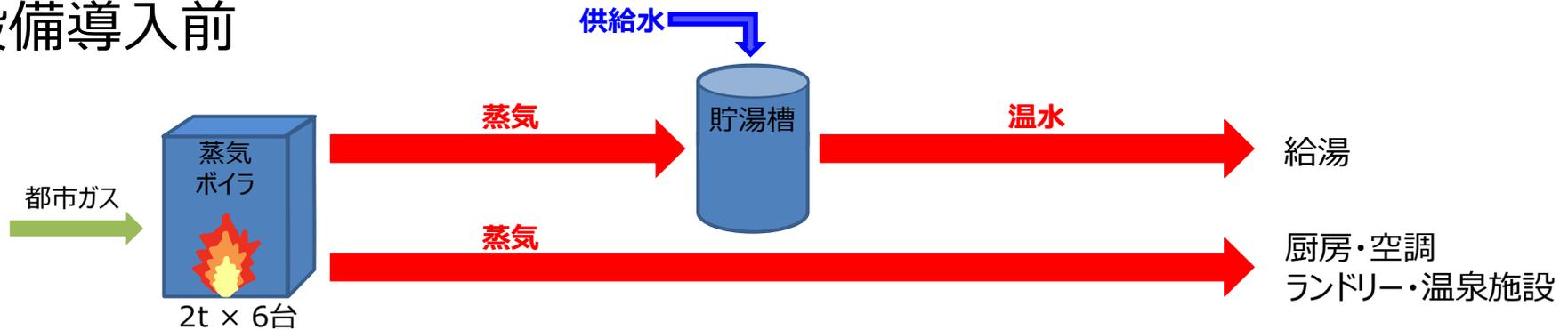
採択

設備更新による「省エネ量」「省エネ率」「費用対効果」が
平均と比べて高かった。

設備導入前後の比較

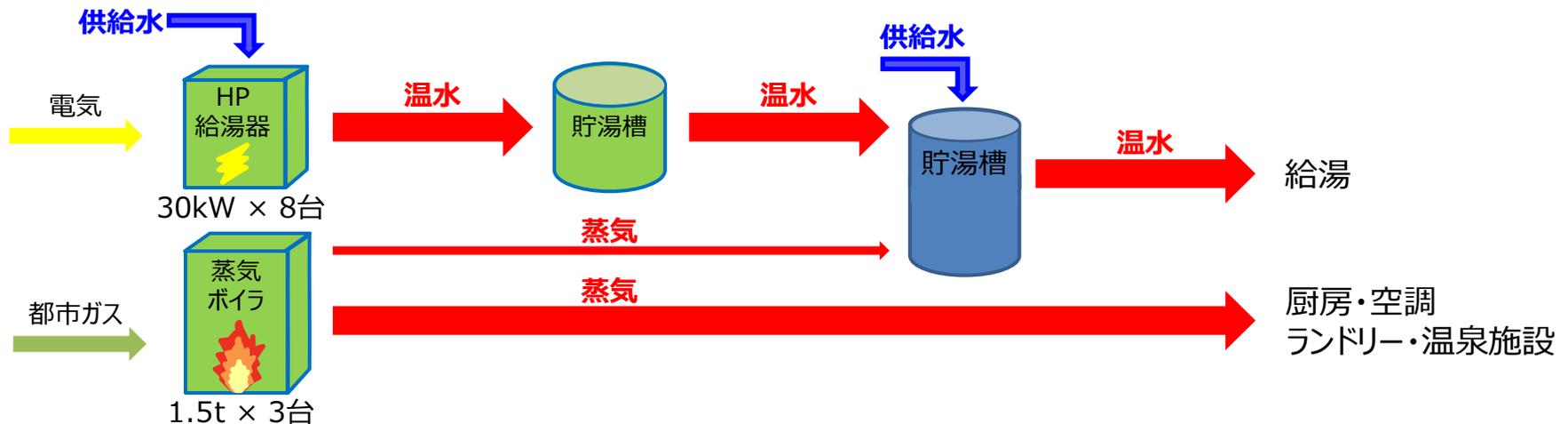
凡例
既設設備
導入設備

設備導入前



設備導入後

※運用効率の高いヒートポンプ給湯器と高効率蒸気ボイラの導入により、エネルギーの使用量を削減。



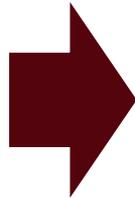
導入設備概要

	①業務用ヒートポンプ給湯器	②高性能蒸気ボイラ
能力	加熱能力 30 kW	相当蒸発量 1,500 kg/h
効率	COP (中間期) 4.3	ボイラ効率 98%
使用燃料	電気	都市ガス13A
導入台数	8台	3台

既存設備



蒸気ボイラ



導入設備



①業務用ヒートポンプ給湯器

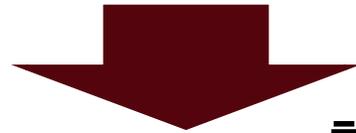


②高性能蒸気ボイラ

省エネルギー効果

事業前エネルギー使用量

675.25 (kl/年)



計画を大きく上回る省エネ量

実績省エネ量

195.28 (kl/年)

(計画省エネ量 64.73 (kl/年))



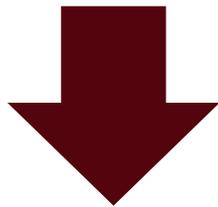
実運転におけるシステム効率が計画を上回り、
定格効率以上の省エネ効果が実現した。

今後の取組

中長期的に原単位を年平均 1%以上低減

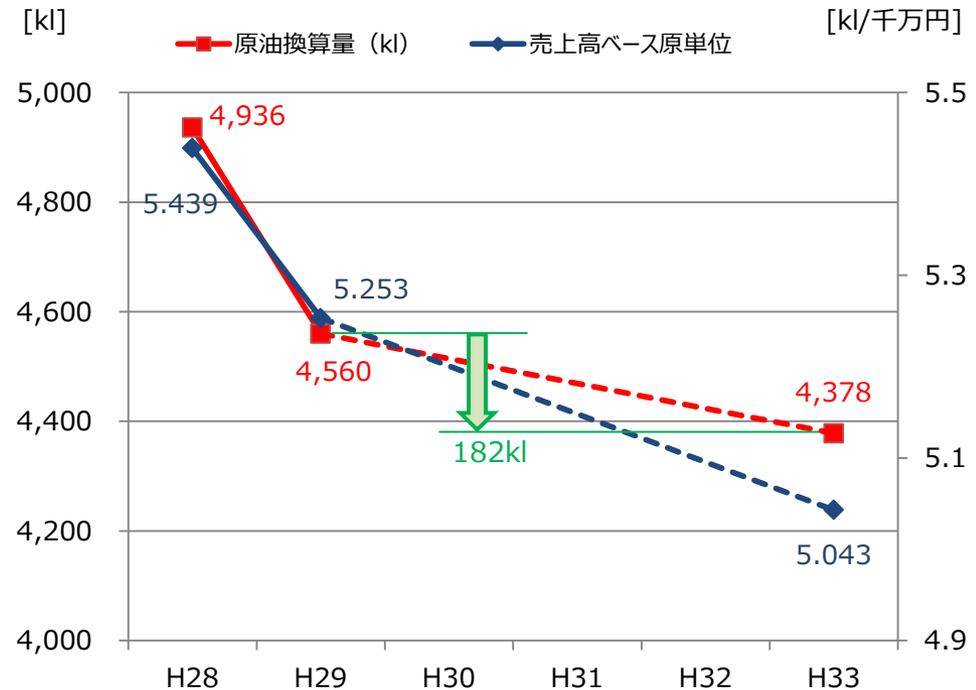
平成29年度(ベース)

原油換算値	4,560 kl
売上高	868.1 千万円
原単位	5.253 kl/千万円



平成33年度 (目標)

原油換算値	4,378 kl (182 klの削減要)
売上高	※平成29年度相当と仮定
原単位	5.043 kl/千万円



今後の取組

182klの削減目標に対し、今後以下の設備更新を計画

削減が見込まれる項目案	平成30年度～ 平成33年度削減量試算
照明器具LED化	113 kl
ファンINV制御化	91 kl
省エネ型機器導入	30 kl
パッケージエアコン更新	23 kl



257 kl

設備更新計画を実行していくため、
今後も補助金と税制優遇を積極的に活用していきたい。



SHIROYAMA HOTEL
kagoshima

ご清聴、ありがとうございました。

